

# 「沖縄から日本の

# 平和を問う！」

あ は れん  
お話 阿波連正一さん

(静岡大学法科大学院教授)

◆ 11月14日(土)

13:30~16:00

◆ 藤枝市生涯学習センター

(藤枝市茶町 1-5-5)

◆ 入場無料 (90人先着順)



あきらめない！ 屈しない！

ついに「安保法制」が強行採決されました。9条だけでなく「日本国憲法」そのものの危機です。この日本「本土」の平和は沖縄に対する過重な負担の強要によって保たれてきました。辺野古を中心とする基地問題は沖縄戦や沖縄戦後史の積み重ねの上にあります。沖縄の自己決定権が叫ばれる今、「本土」の私たちは、沖縄とどう向き合っていけばよいのでしょうか。ともに考えてみましょう。

阿波連正一さんは1952年沖縄県国頭村生まれ。沖縄国際大学教授などを経て10年前から静岡大学法科大学院教授。専門分野は民法、環境・公害法。「仲井真前知事が辺野古埋め立てを承認したことはあきらかに間違い」という。

著書・論文「沖縄の基地問題」「環境・公害法の理論と実践」「体系 公害判例」他多数。